

「GLP相模原プロジェクト」に係る準備書市長意見書

1 総括的事項

GLP相模原プロジェクト(以下「本事業」という。)は、大規模な物流ソリューションの提供を目的として、中央区田名における約29ヘクタールの土地をサイト1～5に分け、5つの特定目的会社が段階的に造成するとともに、サイト1においては、延べ面積約34万平方メートルの大規模物流施設を建設する事業である。

本事業の対象事業実施区域は、人工平坦地の工業専用地域であり、建設機械製造業の事業所跡地である。

また、その周辺は、東側に隣接して一般国道129号、北西側に隣接して県道63号が南北に通っており、東側及び北側に隣接する市道沿いに住宅が所在するとともに、南側に隣接して物流施設が立地している。

本事業の実施に伴い、工事用車両及び供用時の施設関連車両の走行による沿道の生活環境への影響が特に懸念される。

以上のことを踏まえ、環境影響評価書の作成に当たっては、次に示す事項について十分に配慮すること。

2 個別事項

(1) 騒音・超低周波音

工事用車両及び施設関連車両の走行に伴う騒音について、予測結果において環境基準値を超過している地点及び増加分が大きい地点があることから、環境影響評価準備書(以下「準備書」という。)に示された環境保全措置を徹底するとともに、事業実施に伴い発生する交通需要の時間的な調整等の更なる環境保全措置を検討し、環境負荷の低減に努めること。

(2) 交通混雑

工事用車両及び施設関連車両の走行に伴う交通混雑について、現地調査結果において渋滞が発生している地点及び予測結果において車線混雑度が1.0を超過している地点があることから、準備書に示された環境保全措置を徹底するとともに、事業実施に伴い発生する交通需要の時間的な調整等の更なる環境保全措置を検討し、環境負荷の低減に努めること。

(3) 景観

ア 施設建築物等の存在に伴う身近な景観について、予測結果において周辺交差点からの景観の変化の程度が示されているが、より身近な視点からの圧迫感に影響を及ぼすことが想定されることから、形態率の算定等による圧迫感の変化の程度の予測を検討すること。

イ 施設建築物等の存在に伴う主要な眺望景観について、予測結果において主要な眺望地点からの景観の変化の程度が示されているが、落葉期における影響が大きいおそれがあることから、落葉期における予測並びに落葉期及び展葉期における事後調査の実施を検討すること。

以上